

抜 粋

那覇市都市公園ストック再編計画（案）

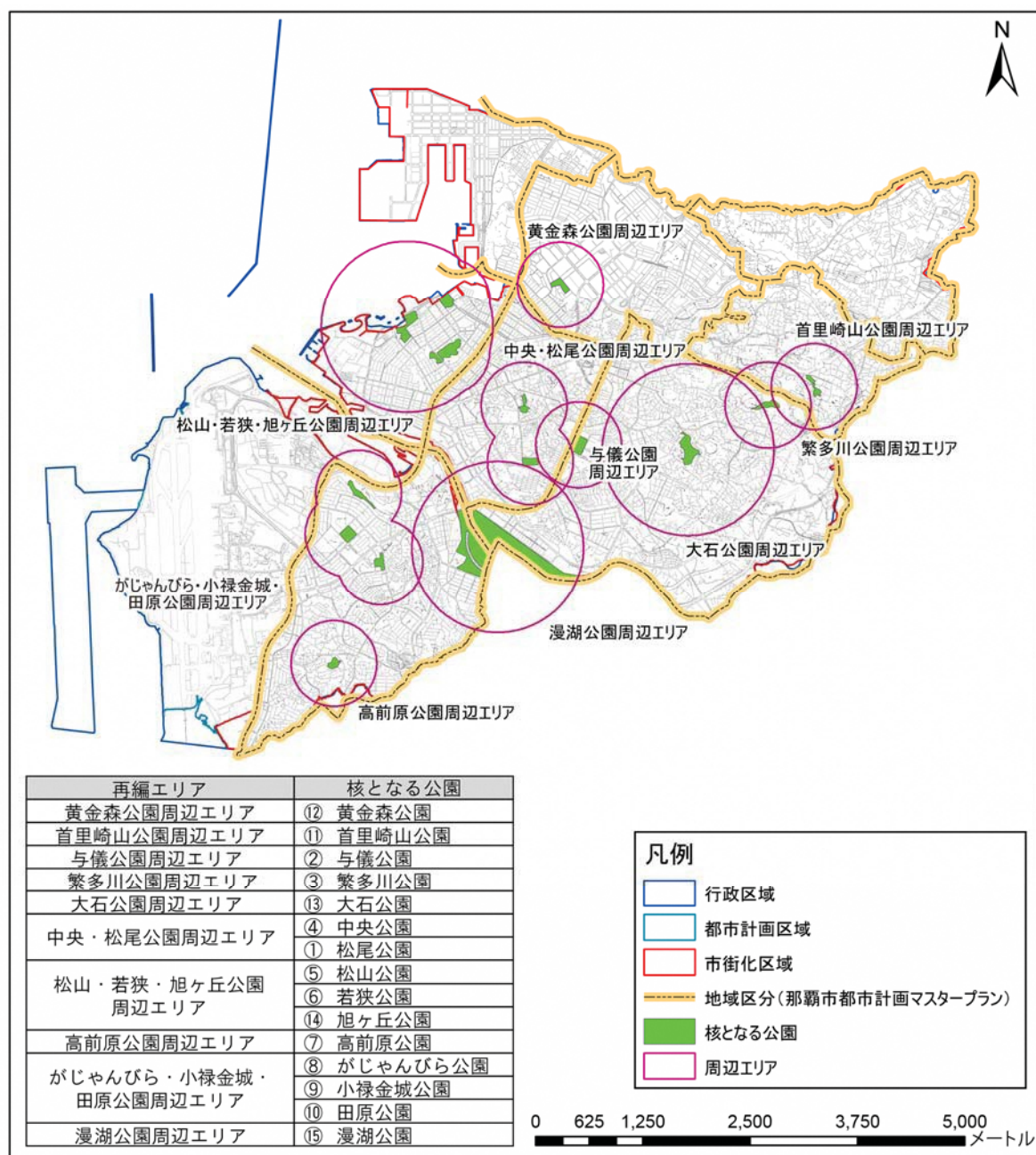
2022年（令和4年）2月

那 覇 市

2-2. 核となる公園周辺エリアの特性および上位計画の位置づけ

核となる公園周辺の特性および上位計画の位置づけを整理します。公園周辺の範囲は、誘致距離を基本として「公園周辺エリア」と定義します。

各公園周辺エリアの特性は、誘致距離と、誘致距離の重複、都市マスの地域区分から設定した下図に示すエリア内でそれぞれ整理をします。

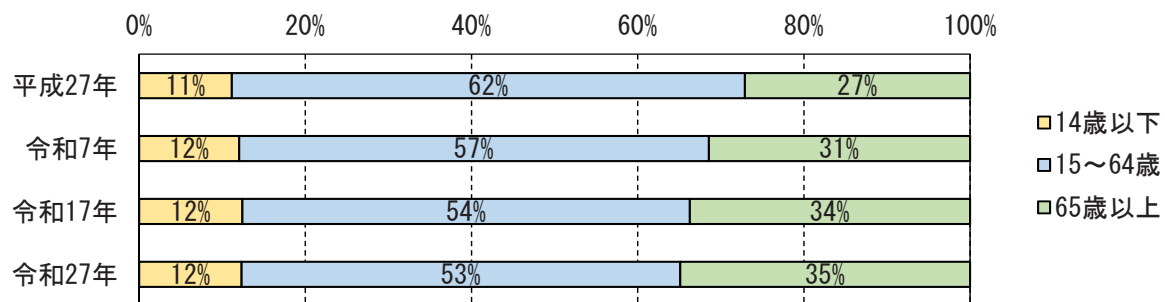


図：核となる公園周辺エリア

(3) 真和志地域再編エリア

与儀公園周辺エリア、繁多川公園周辺エリア、大石公園周辺エリアの特性および上位計画の位置づけを以下にまとめます。

対象公園		与儀公園(都市マス地域区分:真和志地域)		
地域の特性(都市マス)				
① 世界遺産識名園があります				
② 起伏に富んだ地形と豊かな自然環境を有しています				
③ 公共交通の新たな展開が検討されています				
地域の将来像(都市マス)				
公共交通の利便性の向上や新しい公共交通システムの導入を推進するとともに、歩行者・自転車の利用環境の整備を進めます。識名公園や漫湖公園などの貴重な緑や水辺、花木など、自然環境の保全と活用により、憩いとうるおいの空間形成を図ります。また、識名園の歴史を核とした歴史・文化遺産を活かしたまちづくりを進めます。新しい公共交通と連携した身近な生活サービス施設が集積・充実する地域拠点の形成を図り、魅力的な沿道の土地利用を推進することにより、中心拠点から連続する快適で緑豊かな住宅地の形成を進めます。				
与儀公園周辺エリアの特性				
人口構成	・14歳以下の人口割合は、平成27年(2015年)時点で11%であり、令和27年(2045年)まで、ほぼ横ばいに推移する見込みである。 ・65歳以上の人口割合は、平成27年(2015年)の27%から令和27年(2045年)には35%に上昇する見込みである。 ・人口集積は、令和27年(2045年)に100人/haを下回る区域が生じる見込みである。			
土地利用	・周辺エリアの土地利用は、住居系土地利用(50%)、文教厚生用地(22%)、商業系土地利用(6%)の順に高い。			
都市機能	・周辺には、医療施設や福祉施設、子育て施設、高等教育機関、文教施設が立地している。 ・与儀公園に隣接または近接して、災害拠点病院指定の沖縄赤十字病院や消防署、那覇警察署、神原小学校、神原中学校、中央図書館、保育園・こども園が立地している。 ・旧市民会館跡地では、真和志支所の建替えが計画されている。			
災害ハザード	・与儀公園内には、災害ハザードエリアの指定はない。			
街区公園の誘致圏カバー率	・再編エリア(真和志地域)における街区公園誘致圏カバー率は36.7%である。			
与儀公園周辺エリアに関する上位計画の位置づけ(★:対象公園に関する記載)				
那覇市緑の基本計画	・緑の拠点(公園や緑地の充実・質の向上を図る) ・身近な公園が不足するエリアがあり、市街地の修復に合わせた都市公園整備やその他のオープンスペース整備に努める。			
那覇市都市計画マスタープラン	・緑やレクリエーションなどの拠点となる与儀公園などは、柔軟な管理・運営により、市民により一層親しまれる公園を目指します。★ ・桜祭りの行われる与儀公園などは、自然・レクリエーションの拠点に加え、観光・交流の拠点として魅力的な公園づくりを図ります。★ ・真和志支所の建替えにあたっては、既存の公共施設を集約し、多様な機能を複合化した地域のコミュニティの拠点となる施設整備を図ります。 ・公園などの避難場所は、多様な使われ方が可能なオープンスペースの確保やバリアフリー化を図ります。			
那覇市立地適正化計画	拠点区域	真和志地域拠点	居住環境形成区域A	指定あり
			居住環境形成区域B	—



図：人口構成

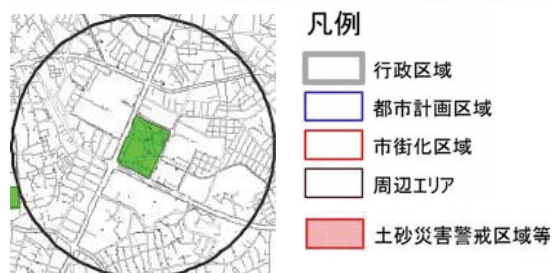


与儀公園周辺エリア	
医療施設	●
商業施設	—
福祉施設	●
地域包括支援センター	—
子育て施設	●
高等教育機関	●
文教施設	●

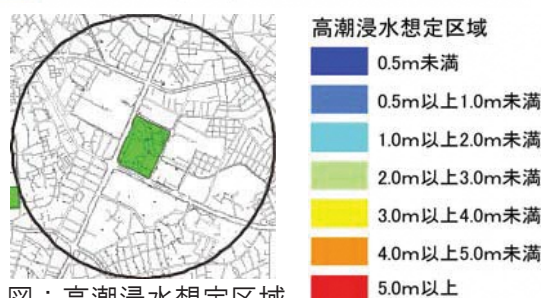
表：都市機能

図：土地利用現況

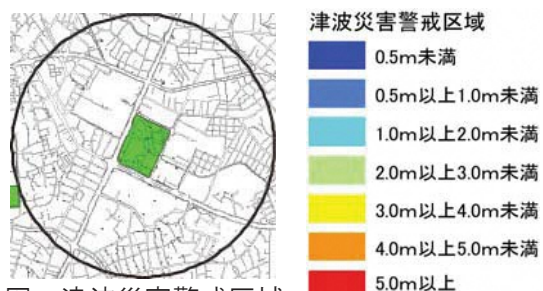
※①沖縄赤十字病院、②神原小学校、③神原中学校、
④消防署、⑤那覇警察署、⑥中央図書館、
⑦みやぎ原保育園、⑧さくら保育園、
⑨わかば認定こども園



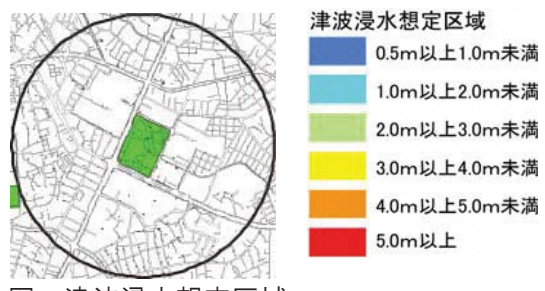
図：土砂災害警戒区域等



図：高潮浸水想定区域



図：津波災害警戒区域



図：津波浸水想定区域

2-3. 核となる公園周辺エリアにおける上位計画の位置づけ

核となる公園周辺エリアの特性および上位計画の位置づけを踏まえ、各公園に期待される機能・効果を整理します。機能・効果は、下表のとおり、国土交通省の「都市公園のストック効果向上に向けた手引き」（平成28年5月、国土交通省都市局公園緑地・景観課）で示されるストック効果の9分類に基づき整理します。なお、「⑤歴史・文化伝承」については、本市の公園は歴史や文化とのつながりが深い状況を踏まえ、項目名に“歴史”を追加します。

表：公園ストックに期待される機能・効果

分類	公園ストックに期待される機能・効果
① 防災性向上	・災害発生時に避難場所、避難路等になることにより地域の安全性向上に寄与 ・災害リスクおよび被害軽減に向けた意識啓発の場
② 環境維持・改善	・貴重な湿地や水辺の環境を保全 ・市街地の貴重な自然環境として都市にうるおいの場を提供 ・生物多様性の確保や地域固有種の保全
③ 健康・レクリエーション	・スポーツに親しむ場 ・健康づくりの場 ・屋外のレクリエーションや余暇活動を幅広い世代が気軽に楽しむ場
④ 景観形成	・特徴的な樹木、花、水辺等による沖縄らしい景観（視対象） ・眺望景観を享受できる眺望点 ・都市のシンボルや良好な街並みを形成
⑤ 歴史・文化伝承	・沖縄の歴史・文化とふれあう場 ・地域の伝統芸能、祭り、風習等無形の文化的資源の保存・継承
⑥ 子育て・教育	・自然や動物とのふれあいや遊びを通して子どもの健全な発育に寄与 ・子育て世代が安全・安心に利用でき、子育てしやすい地域の形成に寄与
⑦ コミュニティ形成	・少子高齢化や人口減少等を踏まえ、地域コミュニティ形成に寄与する場 ・世代間、新旧住民間など多様な主体の交流・連携の機会を提供する場 ・公園愛護会や植樹など公園を通じた市民交流の場
⑧ 観光振興	・地域の資源と一体となり、観光資源として観光客を誘引 ・公園の集客により、物販・飲食・宿泊等観光消費の拡大に寄与
⑨ 経済活性化	・都心の中の貴重なレクリエーション拠点等として集客力増につなげる ・公園の魅力が住宅や企業等の立地を誘発し地域経済に好影響を与える

公園 名称	上位計画の位置づけ (緑:緑の基本計画、都:那覇市都市計画マスタープラン、立:立地適正化計画) (◎:公園の特性や公園に対して位置づけられている機能、 ○:周辺エリアの特性や周辺エリアに対して位置づけられている機能)								
	防災	環境	健康・ レク	景観	歴史・ 文化	子育て・ 教育	コミュ ニティ	観光	経済
与儀 公園	○	◎	◎	—	—	○	○	◎	○
	防災/健康・レク○ ・公園などの避難場所は、多様な使われ方が可能なオープンスペースの確保やバリアフリー化を図ります。(都) 防災○ ・公園に隣接または近接して、災害拠点病院指定の沖縄赤十字病院、神原小学校、神原中学校、消防署、那覇警察署および中央図書館といった公共施設が立地しています。 環境/健康・レク/観光◎ ・桜祭りの行われる与儀公園などは、自然・レクリエーションの拠点に加え、観光・交流の拠点として魅力的な公園づくりを図ります。(都) 環境/健康・レク◎ ・緑やレクリエーションなどの拠点となる与儀公園などは、柔軟な管理・運営により、市民により一層親しまれる公園を目指します。(都) 子育て・教育○ ・再編エリアにおける街区公園誘致圏カバー率は36.7%と低い数値 ・身近な公園が不足するエリアがあり、市街地の修復に合わせた都市公園整備やその他のオープンスペース整備に努めます。(緑) ・公園に隣接または近接して、みやぎ原保育園、さくら保育園、わかば認定こども園といった子育て施設が立地しています。 コミュニティ○ ・真和志支所の建替えにあたっては、既存の公共施設を集約し、多様な機能を複合化した地域のコミュニティの拠点となる施設整備を図ります。(都) ・居住環境形成区域 A(立) 経済○ ・真和志地域拠点(立)								
繁多川 公園	○	○	○	○	○	○	○	—	—
	防災/健康・レク○ ・公園などの避難場所は、多様な使われ方が可能なオープンスペースの確保やバリアフリー化を図ります。(都) 環境/歴史・文化○ ・識名台地の北～東～南側にかけたの斜面緑地は保全に努め、これらを含む公園においても積極的に保全を位置づけます。また南側の斜面地一帯に立地する旧集落では、屋敷林や井泉、拝所などの資源やその環境を保全します。(緑) 景観○ ・ハンタなどでは、南部方面や市街地を見渡すことのできる眺望点の確保を図ります。(都) 子育て・教育○ ・再編エリアにおける街区公園誘致圏カバー率は36.7%と低い数値 コミュニティ○ ・居住環境形成区域 A(立)								

第3章 核となる公園の現状・課題の整理

3-1. 核となる公園の現状

核となる公園が、現状の施設および空間において、どのような機能・効果をもたらしているかを整理します。機能・効果は、下表のとおり、国土交通省の「都市公園のストック効果向上に向けた手引き」（平成28年5月、国土交通省都市局公園緑地・景観課）で示されるストック効果の9分類に基づき整理します。なお、「⑤歴史・文化伝承」については、本市の公園は歴史や文化とのつながりが深い状況を踏まえ、項目名に“歴史”を追加します。

表：現在の公園がもたらしている機能・効果

分類	公園ストックに期待される機能・効果
① 防災性向上	・災害発生時に避難場所、避難路等になることにより地域の安全性向上に寄与 ・災害リスクおよび被害軽減に向けた意識啓発の場
② 環境維持・改善	・貴重な湿地や水辺の環境を保全 ・市街地の貴重な自然環境として都市にうるおいの場を提供 ・生物多様性の確保や地域固有種の保全
③ 健康・レクリエーション	・スポーツに親しむ場 ・健康づくりの場 ・屋外のレクリエーションや余暇活動を幅広い世代が気軽に楽しむ場
④ 景観形成	・特徴的な樹木、花、水辺等による沖縄らしい景観（視対象） ・眺望景観を享受できる眺望点 ・都市のシンボルや良好な街並みを形成
⑤ 歴史・文化伝承	・沖縄の歴史・文化とふれあう場 ・地域の伝統芸能、祭り、風習等無形の文化的資源の保存・継承
⑥ 子育て・教育	・自然や動物とのふれあいや遊びを通して子どもの健全な発育に寄与 ・子育て世代が安全・安心に利用でき、子育てしやすい地域の形成に寄与
⑦ コミュニティ形成	・少子高齢化や人口減少等を踏まえ、地域コミュニティ形成に寄与する場 ・世代間、新旧住民間など多様な主体の交流・連携の機会を提供する場 ・公園愛護会や植樹など公園を通じた市民交流の場
⑧ 観光振興	・地域の資源と一体となり、観光資源として観光客を誘引 ・公園の集客により、物販・飲食・宿泊等観光消費の拡大に寄与
⑨ 経済活性化	・都心の中の貴重なレクリエーション拠点等として集客力増につなげる ・公園の魅力が住宅や企業等の立地を誘発し地域経済に好影響を与える

(3) 与儀公園

与儀公園が現在有している機能・効果を以下にまとめます。

公園名称	与儀公園	公園種別	近隣公園
供用面積	2.67ha	供用開始日	昭和 45 年 4 月 11 日
法規制等	第二種中高層住居専用地域、近隣商業地域・準住居地域（一部） 神原文教地区（一部）、防火地域（一部）		
沿革概要	昭和 31 年 3 月 23 日の都市計画決定以来、2 度の計画変更を経て、昭和 45 年 4 月 11 日に那覇市都市公園条例の制定と同時に都市公園として供用開始された。		
■公園の現況(◎:代表的な施設・機能、○:有している施設・機能)			
※◎は公園に占める面積割合や他の公園と差別化できる特徴などから判断			
公園の特性 イベント等	市内でも数少ないさくらの名所となっている緑豊かな公園 【イベント】なはさくらまつり		
公園 ストック（施設・機能）	防災	○	避難場所
	環境	◎	樹木
	健康・レク	◎	広場（よく使われている）、ゲートボール場（あまり使われていない）、健康遊具、ステージ（あまり使われていない）
	景観	○	花壇、パーゴラ
	歴史・文化	◎	機関車、石碑 ゲートボール場付近で囲碁が行われている
	子育て・教育	○	遊具（シーソー、ブランコ、ラダー、すべり台、砂場、スカルプチュアー、サークルジム、ロッカーバイスイング、鉄棒）
	コミュニティ	◎	公園愛護会（18 団体）による公園清掃等が行われている
	観光	—	
	経済	—	
	その他		トイレ、東屋、ベンチ、飲食店、交番 等
特徴的な植栽、 現況樹林等	ガジュマル、カンヒザクラ、リュウキュウマツ、フクギ、ヤシ、デイゴ並木、サクラ並木、ヤシ並木		
■公園の管理上の課題			
・囲碁ができる環境を整備してほしいという要望がある。			

凡 例

防災性向上

環境維持・改善

健康・レクリエーション

景観形成

歴史・文化伝承

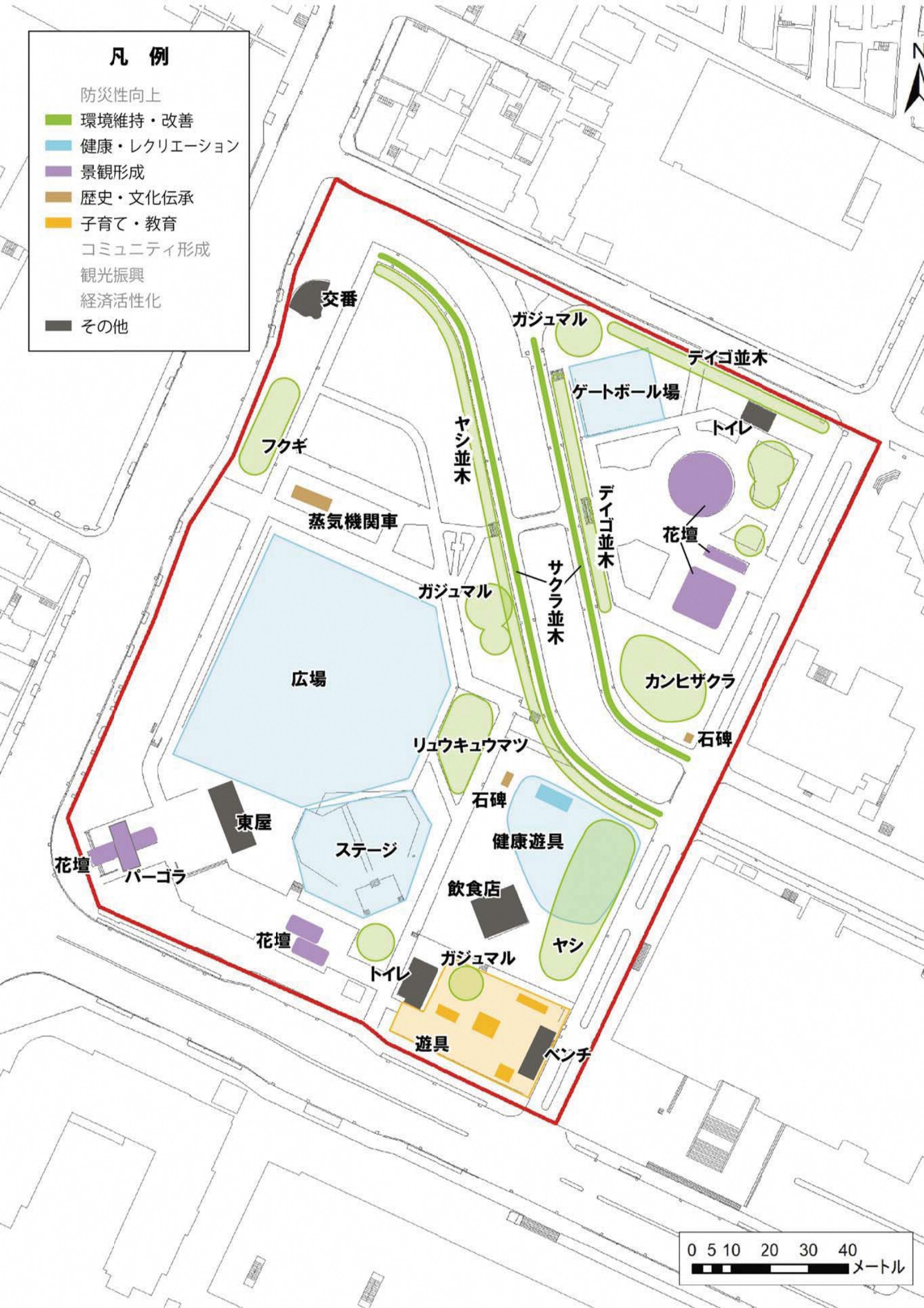
子育て・教育

コミュニティ形成

観光振興

経済活性化

その他



0 5 10 20 30 40
メートル

3-2.核となる公園周辺エリアにおける街区公園の整備状況

(3) 与儀公園周辺エリア

与儀公園周辺エリアにおける街区公園の整備状況について、現状を以下にまとめます。

核となる公園	与儀公園	街区公園の整備率(%)		真和志地域:36.7%		
街区公園(箇所)	1 箇所(船増原公園)					
街区公園の公園施設の整備状況(概要)	≪ 船増原公園 ≫ ベンチ、スツール、遊具(ブランコ、スプリング遊具、ロッカーバイスイング、砂場)、水飲み場					
核となる公園と重複している公園施設	広場	◎	散策路	—	自転車路	—
	遊具	●	健康遊具	◎	休憩施設	●
	トイレ	◎	水飲み場	●	防火水槽	—
	運動施設	◎(ゲートボール場)				
	その他	特になし				

●:重複している公園施設 ◎:核となる公園に配置されている公園施設

—:核となる公園・街区公園共に配置されていない公園施設

(4) 繁多川公園周辺エリア

繁多川公園周辺エリアにおける街区公園の整備状況について、現状を以下にまとめます。

核となる公園	繁多川公園	街区公園の整備率(%)		真和志地域:36.7%		
街区公園(箇所)	2箇所(金城南公園、松城公園)					
街区公園の公園施設の整備状況(概要)	≪金城南公園≫ ベンチ、スツール、遊具(コンビネーション遊具)、水飲み場 ≪松城公園≫ ベンチ、遊具(ブランコ、シーソー、すべり台、砂場、鉄棒)、水飲み場、ゴミ箱、防火水槽					
核となる公園と重複している公園施設	広場	◎	散策路	—	自転車路	—
	遊具	●	健康遊具	◎	休憩施設	●
	トイレ	◎	水飲み場	●	防火水槽	※
	運動施設	—				
	その他	特になし				

●:重複している公園施設 ◎:核となる公園に配置されている公園施設

—:核となる公園・街区公園共に配置されていない公園施設

※:街区公園に配置されている公園施設

第4章 地域ニーズの把握

4-1. 地域ニーズ調査の実施

(1) 地域ニーズ調査の概要

市民の公園利用に関するニーズを把握するために、アンケート調査をウェブおよび現地でのヒアリングにより実施しました。実施概要は、下表のとおりです。約2週間の調査で、ウェブアンケートで163件、ヒアリングで348件、合計515件の回答を得ました。

表：実施概要

目 的	・公園の利用者に限定せず、対象となる公園の地域ニーズを把握する。 ・主な調査項目は、新たに整備を希望する機能や今後の使い方に関する内容とする。 ・結果は、対象公園の整備方針立案の参考とする。		
調 査 方 法	・ウェブアンケートと核となる公園の利用者へのヒアリングにより調査する。 ・質問は、ウェブアンケートとヒアリングで同じ内容とする。 ※ヒアリングのみ、公園の課題を自由回答式で聴取している。		
調 査 対 象	・ウェブアンケート：アンケートフォームにアクセスできる方 ・利用者ヒアリング：調査日に公園を利用していた方		
調 査 期 間	・ウェブアンケート：2021年12月10日(金)～24日(金) ・利用者ヒアリング：2021年12月11日(土)	計15日間 計1日間	
サンプル数	・ウェブアンケート：167件 ・利用者ヒアリング：348件 合計515件		

(2) 調査結果

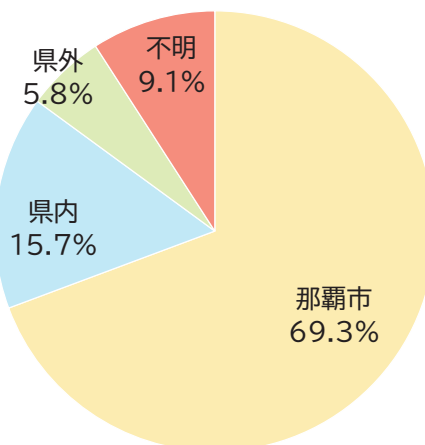
アンケート調査の結果を以下にまとめます。なお、集計はウェブアンケートとヒアリングを合算しています。

A：属性

問1 現在お住まいの地域を教えてください。

回答者の69.3%が、那覇市に居住しています。

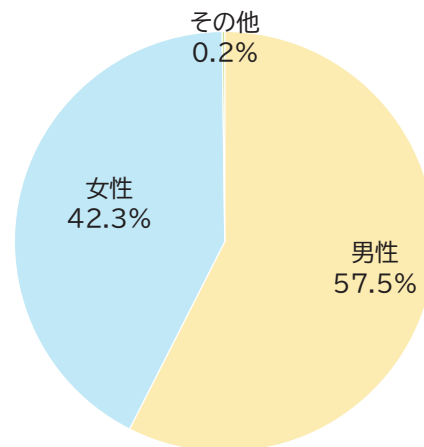
那覇市以外の沖縄県内に居住する方は15.7%、沖縄県外に居住する方は5.8%、居住地が不明の回答者は9.1%でした。



サンプル数：515（有効回答数：515）

問2 あなたの性別を教えてください。

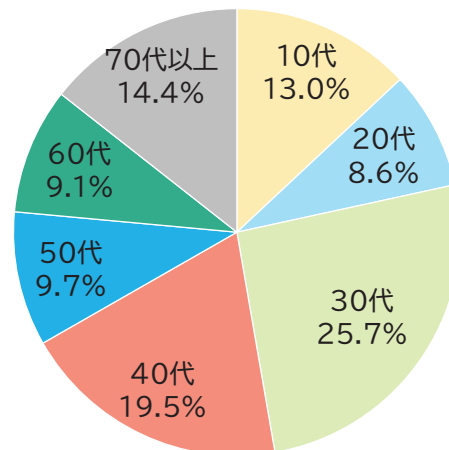
回答者の 57.5%が男性、42.3%が女性でした。



サンプル数：515（有効回答数：515）

問3 あなたの年代を教えてください。

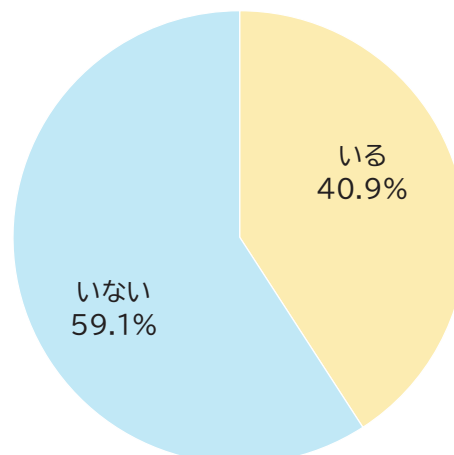
回答者のうち、30代が25.7%と最も割合が高く、次いで40代（19.5%）、70代以上（14.4%）、10代（13.0%）、50代（9.7%）、60代（9.1%）、20代（8.6%）の順で年代別の回答が多く得られました。



サンプル数：515（有効回答数：515）

問4 あなたのご家族には、小学生以下の子どもがいますか。

回答者のうち、家族に小学生以下の子どもがいる方は40.9%でした。



サンプル数：514（有効回答数：515）

B:公園の利用状況

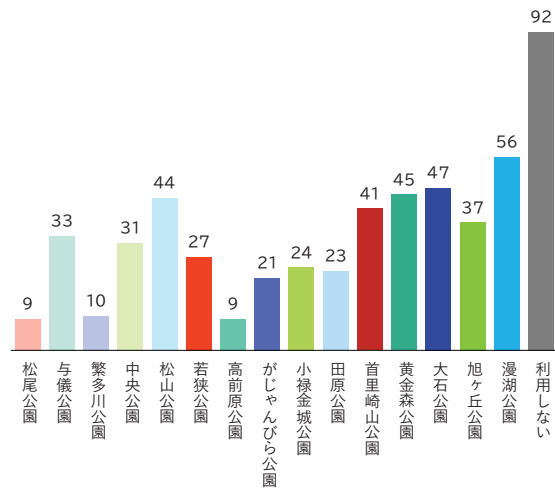
問5 次のうち、よく行く公園はどこですか。3つまでお選びください。

よく行く公園がない場合は、「利用しない」をお選びください。

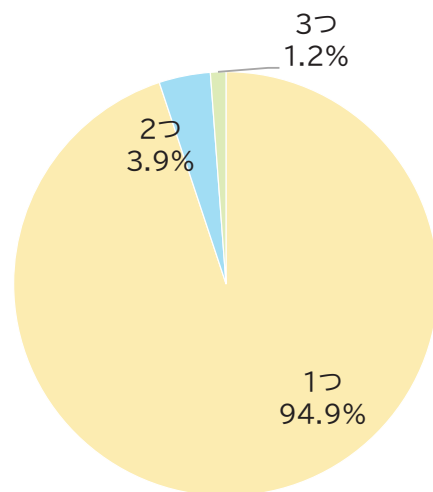
15箇所の核となる公園のうち、最も回答者が「よく行く公園」として選んだのは、漫湖公園（56件）でした。次いで、大石公園（47件）、黄金森公園（45件）、松山公園（44件）、首里崎山公園（41件）、旭ヶ丘公園（37件）、与儀公園（33件）、中央公園（31件）、若狭公園（27件）、小禄金城公園（24件）、田原公園（23件）、がじゃんびら公園（21件）、繁多川公園（10件）、松尾公園および高前原公園（9件）の順で「よく行く公園」として回答を得ました。

一方で、15箇所の核となる公園について、「よく行く公園がない」と回答した件数は、92件ありました。

なお、15箇所の核となる公園について「よく行く公園がある」と回答した方のうち、よく行く公園を1つあげた方は94.9%、2つあげた方は3.9%、3つあげた方は1.2%でした。



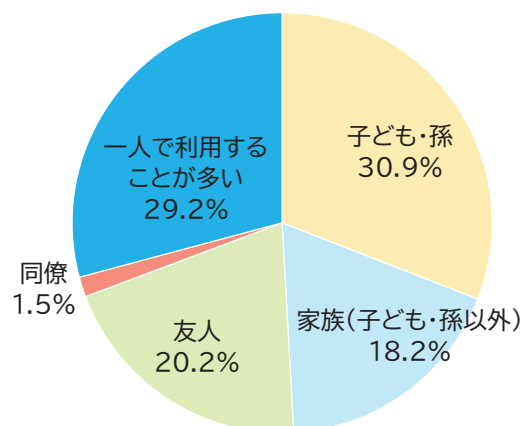
サンプル数：549（有効回答数：515）



サンプル数：511（有効回答数：515）

問6 誰と一緒に公園に行くことが多いですか。次の中から1つお選びください。

誰と一緒に公園を利用することが多いかという問いに関しては、子ども・孫が30.9%で最も高い割合でした。次いで、一人で利用することが多い（29.2%）、友人（20.2%）、家族（子ども・孫以外）（18.2%）、同僚（1.5%）の順で多く回答が得られました。



誰と一緒に公園を利用することが多いかという問いに関して、15 箇所の核となる公園別に集計した結果、松尾公園、与儀公園、繁多川公園、首里崎山公園は、一人で利用することが多いと回答した方の割合が、他の選択肢に比べて圧倒的に高い傾向にありました。

一方で、小禄金城公園、黄金森公園、大石公園、漫湖公園は、子ども・孫と回答する方の割合が、他の選択肢に比べて圧倒的に高い傾向にあります。中央公園、松山公園、若狭公園、高前原公園、がじゃんぴら公園、田原公園、旭ヶ丘公園については、公園毎にばらつきはあるものの、多様な利用形態がみられました。特に、田原公園、旭ヶ丘公園については、子ども・孫以外の家族と利用する方が多い傾向にあるという特徴がみられます。

	松尾公園	与儀公園	繁多川公園	中央公園	松山公園	若狭公園	高前原公園	がじゃんぴら公園
子ども・孫	0.0%	16.7%	9.1%	30.3%	23.8%	33.3%	33.3%	34.8%
家族（子ども・孫以外）	11.1%	20.0%	9.1%	3.0%	14.3%	7.4%	11.1%	26.1%
友人	0.0%	23.3%	27.3%	36.4%	16.7%	14.8%	0.0%	13.0%
同僚	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
一人で利用することが多い	88.9%	40.0%	54.5%	24.2%	40.5%	44.4%	55.6%	26.1%

	小禄金城公園	田原公園	首里崎山公園	黄金森公園	大石公園	旭ヶ丘公園	漫湖公園
子ども・孫	58.3%	29.2%	21.6%	44.7%	40.4%	5.4%	42.9%
家族（子ども・孫以外）	4.2%	45.8%	18.9%	8.5%	23.4%	37.8%	19.6%
友人	25.0%	8.3%	16.2%	19.1%	25.5%	29.7%	17.9%
同僚	4.2%	0.0%	2.7%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
一人で利用することが多い	8.3%	16.7%	40.5%	27.7%	8.5%	27.0%	19.6%

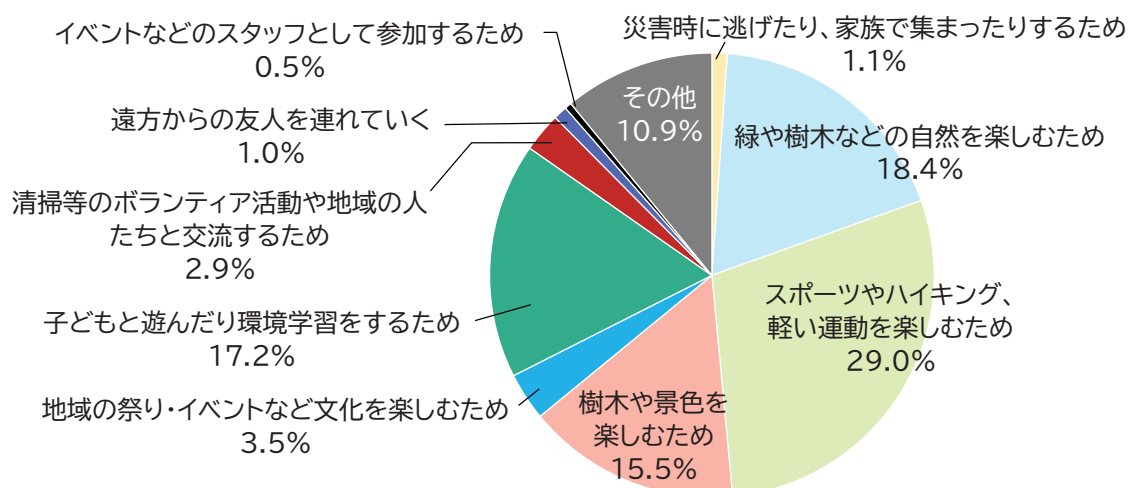
サンプル数：456（有効回答数：515）

問7 公園で何をすることが多いですか。あてはまるものをすべてお選びください。

公園で何をすることが多いかという問いに関して、スポーツやハイキング、軽い運動を楽しむためが 29.0%で最も高い割合でした。次いで、緑や樹木などの自然を楽しむため（18.4%）、子どもと遊んだり環境学習をするため（17.2%）、樹木や景色を楽しむため（15.5%）の順で多くの回答を得ました。

一方で、地域の祭り・イベントなど文化を楽しむため（3.5%）、清掃等のボランティア活動や地域の人たちと交流するため（2.9%）、災害時に逃げたり集まったりするため（1.1%）、遠方からの友人を連れていく（1.0%）、イベントなどのスタッフとして参加するため（0.5%）は、公園の利用目的としてあまり回答されませんでした。

なお、回答者の 10.7%は、その他の利用目的であると回答しました。



公園で何をする事が多いかという問いに関して、15 箇所の核となる公園別に集計した結果、与儀公園、繁多川公園、中央公園、松山公園、若狭公園、高前原公園、がじゃんびら公園、首里崎山公園、黄金森公園、大石公園、漫湖公園では、利用目的として「スポーツやハイキング、軽い運動を楽しむため」と回答する割合が高い傾向にありました。

一方で、小禄金城公園、旭ヶ丘公園は「緑や樹木を楽しむため」、田原公園は「子どもと遊んだり環境学習をするため」と回答する割合が高い傾向にありました。

なお、松尾公園については、利用者の 80.0%が「その他」の利用目的を回答しています。

	松尾公園	与儀公園	繁多川公園	中央公園	松山公園	若狭公園	高前原公園	がじゃんびら公園
災害時に逃げたり、家族で集まったりするため	0.0%	4.9%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
緑や樹木などの自然を楽しむため	0.0%	16.4%	26.1%	2.4%	23.9%	16.3%	26.7%	28.9%
スポーツやハイキング、軽い運動を楽しむため	10.0%	19.7%	39.1%	39.0%	31.0%	42.9%	46.7%	31.6%
樹木や景色を楽しむため	10.0%	11.5%	21.7%	7.3%	15.5%	16.3%	6.7%	15.8%
地域の祭り・イベントなど文化を楽しむため	0.0%	11.5%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
子どもと遊んだり環境学習をするため	0.0%	9.8%	8.7%	24.4%	18.3%	16.3%	20.0%	13.2%
清掃等のボランティア活動や地域の人たちと交流するため	0.0%	3.3%	4.3%	7.3%	1.4%	0.0%	0.0%	7.9%
遠方からの友人を連れていく	0.0%	1.6%	0.0%	2.4%	1.4%	0.0%	0.0%	2.6%
イベントなどのスタッフとして参加するため	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	80.0%	18.0%	0.0%	14.6%	7.0%	8.2%	0.0%	0.0%

	小禄金城公園	田原公園	首里崎山公園	黄金森公園	大石公園	旭ヶ丘公園	漫湖公園
災害時に逃げたり、家族で集まったりするため	2.6%	4.7%	0.0%	1.1%	1.0%	0.0%	0.0%
緑や樹木などの自然を楽しむため	30.8%	9.3%	19.7%	19.3%	12.1%	28.6%	13.5%
スポーツやハイキング、軽い運動を楽しむため	20.5%	23.3%	39.3%	27.3%	25.3%	6.5%	41.6%
樹木や景色を楽しむため	7.7%	9.3%	21.3%	20.5%	13.1%	27.3%	12.4%
地域の祭り・イベントなど文化を楽しむため	2.6%	2.3%	3.3%	2.3%	11.1%	0.0%	3.4%
子どもと遊んだり環境学習をするため	23.1%	32.6%	8.2%	18.2%	21.2%	5.2%	24.7%
清掃等のボランティア活動や地域の人たちと交流するため	0.0%	2.3%	3.3%	1.1%	3.0%	7.8%	0.0%
遠方からの友人を連れていく	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	1.0%	1.3%	0.0%
イベントなどのスタッフとして参加するため	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.0%	0.0%	0.0%
その他	12.8%	16.3%	4.9%	6.8%	11.1%	23.4%	4.5%

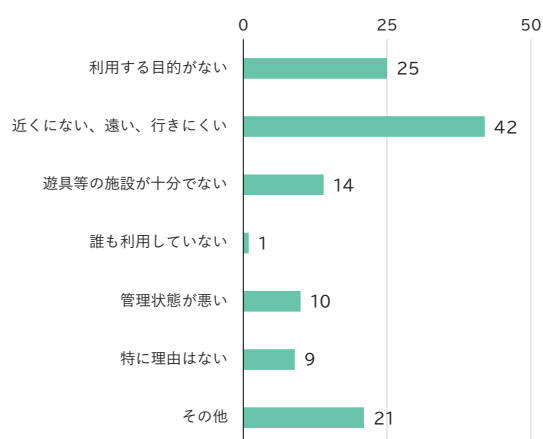
サンプル数：804（有効回答数：515）

問8 公園に行かない理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

問5で、15 箇所の核となる公園について、「よく行く公園がない」と回答した理由を尋ねた結果、「近くない、遠い、行きにくい」が42件と最も多く、次いで「利用する目的がない」（25件）、「遊具等の施設が十分でない」（14件）、「管理状態が悪い」（10件）「誰も利用していない」（1件）の順で多く回答を得ました。

一方で、「特に理由はない」と回答した件数も9件あります。

また、「その他」の回答も21件ありました。



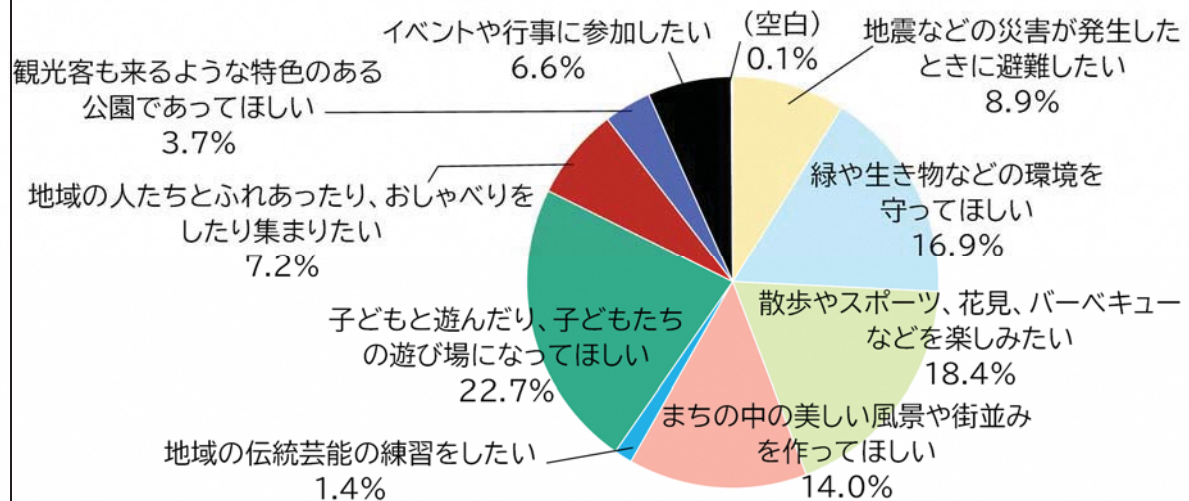
サンプル数：122（有効回答数：92）

C:今後の整備方針について

問9 公園で何をしたい、または、してほしいですか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。

回答者が公園でしたいことを問う質問について、那覇市内に在住する方を対象に集計した結果、「子どもと遊んだり、子どもたちの遊び場になってほしい」が22.7%で最も高い割合でした。次いで、「散歩やスポーツ、花見、バーベキューなどを楽しみたい」(18.4%)、「緑や生き物などの環境を守ってほしい」(16.9%)、「まちの中の美しい風景や街並みを作ってほしい」(14.0%)、「地震などの災害が発生したときに避難したい」(8.9%)、「地域の人たちとふれあったり、おしゃべりをしたり集まりたい」(7.2%)、「イベントや行事に参加したい」(6.6%)の順で多くの回答を得ました。

一方で、「観光客も来るような特色のある公園であってほしい」(3.7%)、「地域の伝統芸能の練習をしたい」(1.4%)は、公園でしたいこととしてあまり回答されませんでした。



回答者が公園でしたいことを問う質問について、都市マスの地域区分ごとに集計した結果、那覇新港周辺地域、那覇北地域、首里地域、真和志地域、那覇中央地域、小禄地域、那覇空港周辺地域で「子どもと遊んだり、子どもたちの遊び場になってほしい」と回答する割合が高い傾向にありました。

なお、首里北地域では「緑や生き物などの環境を守ってほしい」と「子どもと遊んだり、子どもたちの遊び場になってほしい」が同じ割合で最も高く、那覇西地域では「緑や生き物などの環境を守ってほしい」と回答する割合が高い傾向にありました。

全体として、「地域の伝統芸能の練習をしたい」の回答は少ない傾向にあります。また、「観光客も来るような特色のある公園であってほしい」と「イベントや行事に参加したい」は、地域によってニーズに偏りがある傾向がみられました。

	那覇新港周辺地域	那覇北地域	首里北地域	首里地域	真和志地域
地震などの災害が発生したときに避難したい	11.1%	13.1%	12.1%	13.9%	7.3%
緑や生き物などの環境を守ってほしい	0.0%	13.1%	21.2%	19.4%	15.8%
散歩やスポーツ、花見、バーベキューなどを楽しみたい	22.2%	17.6%	12.1%	19.4%	18.7%
まちの中の美しい風景や街並みを作ってほしい	11.1%	15.7%	18.2%	19.4%	11.4%
地域の伝統芸能の練習をしたい	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	2.6%
子どもと遊んだり、子どもたちの遊び場になってほしい	33.3%	22.2%	21.2%	25.0%	20.9%
地域の人たちとふれあったり、おしゃべりをしたり集まりたい	11.1%	5.2%	9.1%	2.8%	8.1%
観光客も来るような特色のある公園であってほしい	0.0%	3.9%	6.1%	0.0%	5.5%
イベントや行事に参加したい	11.1%	7.2%	0.0%	0.0%	9.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	那覇中央地域	那覇西地域	小禄地域	那覇空港周辺地域	
地震などの災害が発生したときに避難したい	9.3%	5.8%	6.1%	6.3%	
緑や生き物などの環境を守ってほしい	16.7%	29.0%	16.2%	18.8%	
散歩やスポーツ、花見、バーベキューなどを楽しみたい	16.7%	13.0%	22.9%	12.5%	
まちの中の美しい風景や街並みを作ってほしい	16.7%	11.6%	13.4%	12.5%	
地域の伝統芸能の練習をしたい	1.9%	0.0%	0.6%	0.0%	
子どもと遊んだり、子どもたちの遊び場になってほしい	20.4%	21.7%	25.7%	31.3%	
地域の人たちとふれあったり、おしゃべりをしたり集まりたい	8.3%	10.1%	7.3%	6.3%	
観光客も来るような特色のある公園であってほしい	5.6%	2.9%	1.7%	0.0%	
イベントや行事に参加したい	4.6%	5.8%	5.6%	12.5%	
無回答	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	

サンプル数：912（有効回答数：515）

D:身近な公園の整備状況

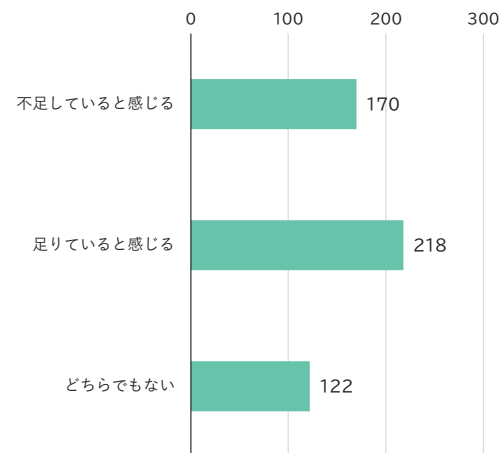
問 10 15 公園に限らず、あなたのご自宅周辺で公園は不足していると感じますか。

回答者の自宅周辺における公園の整備状況について、「不足していると感じる」は 170 件、「足りていると感じる」は 218 件、「どちらでもない」は 122 件の回答を得ました。

問 10 について、都市マスの地域区分ごとに集計すると、那覇新港周辺地域、首里北地域、首里地域、那覇空港周辺地域では

「不足していると感じる」と回答する割合が高い傾向がみられました。

一方で、那覇北地域、真和志地域、那覇中央地域、那覇西地域、小禄地域では「足りていると感じる」と回答する割合が高い傾向がみられました。



	那覇新港周辺地域	那覇北地域	首里北地域	首里地域	真和志地域	那覇中央地域	那覇西地域	小禄地域	那覇空港周辺地域
不足していると感じる	66.7%	31.5%	66.7%	53.6%	36.6%	39.5%	18.4%	16.2%	50.0%
足りていると感じる	0.0%	46.3%	25.0%	28.6%	43.6%	42.1%	50.0%	59.5%	33.3%
どちらでもない	33.3%	22.2%	8.3%	17.9%	19.8%	15.8%	28.9%	23.0%	16.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%	1.4%	0.0%

サンプル数：510（有効回答数：515）

E:公園の課題(ヒアリングのみの設問)

問 12 公園の課題は、何だと思いますか。（自由回答）

15 箇所の核となる公園の利用者に対するヒアリングで寄せられた改善等の要望は、以下のとおりです。

公園名称	ご意見
① 松尾公園	・段差を改善してほしい。
② 与儀公園	・駐車場を整備してほしい。 ・遊具、日陰がほしい。 ・遊具、机、水飲み場、スポーツできる場所がほしい。
③ 繁多川公園	・子どもが楽しめるような公園にしてほしい。
④ 中央公園	・昔のように遊園地にしてほしい。
⑤ 松山公園	・ベンチを増やしてほしい。 ・遊具を増やしてほしい。 ・花があると良い。 ・イベントを開催してほしい。 ・無料の駐車場を設けてほしい。 ・災害に対応できるような公園にしてほしい。
⑥ 若狭公園	・駐車場を整備してほしい。 ・ウォーキングコースを設けてほしい。 ・遊具を増やしてほしい。 ・緑を増やしてほしい。地域住民が花をいじれると良い。

4-2.核となる公園に関する地域ニーズ調査結果

地域ニーズ									
防災	環境	健康・レク	景観	歴史・文化	子育て・教育	コミュニティ	観光	経済	
—	◎	◎	○	○	◎	—	—	—	
評価①(◎:問9と問7で両方トップ3、○:問9と問7でどちらかトップ3)									
評価②(公園の課題の項目は1ランクアップ)									
よく行く公園		・「よく行く公園」として、33件(15公園中7位)の回答を得た。 (回答者の約4割が、一人で利用することが多いと回答している。)							
公園でしたいこと・していること		上位(3つ)				下位(5%未満)			
		①【子育て・教育】「子どもと遊んだり、子どもたちの遊び場になってほしい」(20.9%) ②【健康・レク】「散歩やスポーツ、花見、バーベキューなどを楽しみたい」(18.7%) ③【環境】「緑や生き物などの環境を守ってほしい」(15.8%)				①「地域の伝統芸能の練習をしたい」(2.6%)			
		【集計：真和志地域】 したいこと(問9)	①【健康・レク】「スポーツやハイキング、軽い運動を楽しむため」(19.7%) ②【環境】「緑や樹木などの自然を楽しむため」(16.4%) ③【景観】「樹木や景色を楽しむため」、 【歴史・文化】「地域の祭り・イベントなど文化を楽しむため」(11.5%)				①「遠方からの友人を連れていく」(1.6%) ②「清掃等のボランティア活動や地域の人たちと交流するため」、「イベントなどのスタッフとして参加するため」(3.3%) ③「災害時に逃げたり、家族で集まったりするため」(4.9%)		
身近な公園		(真和志地域) ・身近な公園の整備状況について、「足りていると感じる」と「不足していると感じる」の回答が、それぞれ約4割ある。							
公園の課題		(利用者ヒアリング) 【環境】日陰を増やしてほしい。 【健康・レク】スポーツできるスペース、テーブルがほしい。 【子育て・教育】遊具を増やしてほしい。 【その他】駐車場がほしい。							

5-2.核となる公園の機能再編方針

(2) 核となる公園の機能再編方針

③与儀公園

評価の種類		上位計画	現状	地域ニーズ
ストック効果につながる施設・機能	防災	○	○	—
	環境	◎	◎	◎
	健康・レク	◎	◎	◎
	景観	—	○	○
	歴史・文化	—	◎	○
	子育て・教育	○	○	◎
	コミュニティ	○	◎	—
	観光	◎	—	—
	経済	○	—	—

◎を2点、○を1点としてグラフ化

街区公園 機能の補完	補完の必要性は高い(真和志地域での街区公園の整備率:36.7%)
課題	・沖縄らしさを活かした、観光・交流拠点として魅力的な公園づくり ・ゲートボール場やステージ等、ニーズの変化により利用が減少している施設の機能転換 ・囲碁将棋が行われている環境の向上 ・うっそうとして防犯面や景観面で問題のある空間の解消 ・真和志支所をはじめとする周辺施設との連携による機能向上 ・再編エリア(真和志地域)に不足する街区公園機能の補完
機能再編 方針	転換 観光交流拠点として、必要な機能転換を図りつつ、来園者が交流・滞在できる広場等の観光・レクリエーション機能の魅力を高める。 補完 平常時(日常時)や災害時(非常時)などのフェーズ(社会の状態)に関わらず、利用価値の高い公園を目指して、必要な防災機能等を補完する。 補完 誰もが一緒に遊べるインクルーシブな街区公園機能を補完する。 向上 与儀公園の特徴でもある、囲碁将棋が行われている環境の向上を図る。 向上 沖縄らしい景観を有している特徴的な樹木等は、適切な維持管理および更新により機能の向上を図る。 ・上記に伴い必要となるその他施設の再整備、維持管理および柔軟な使用を適切に行い、公園のストック効果をより高めることとする。